

I 2015（平成 27）年度「大学評価」の結果について

（１）大学基準協会の大学評価

本協会の大学評価は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」(公益財団法人 大学基準協定会款第３条)ことを目的として行われます。より具体的には、

- ① 本協会が定める大学基準に基づき大学の諸側面を包括的に評価することを通じて、大学の教育・研究活動等の質を社会に対し保証すること。
- ② 大学評価の結果の提示ならびにその後の改善報告書の提出およびその検討というアフターケアを通じて、申請大学に設置される学部・研究科等を含む大学全体の改善を継続的に支援するという目的のもと行っています。

特に、社会に対して保証する「大学の質」については、当該大学が自身の掲げる理念や目的の達成に向けた活動を行っていること、自己点検・評価活動を改善へと結びつけ、自己改善を進めていくシステムが機能していることの２点を重視しています。

このため、いくつかの問題が認められるときには、大学基準に適合していると認定するものの、その適合認定の期間に制限を設けて「大学基準」に適合している（以下「期限付適合」という。）と判定し、その後の改善努力と成果を確認する場合があります。

大学評価における期限付適合の期間は３年間とし、その間のいずれかの年度に、期限付適合の原因となった事項について再評価を受けることが必要です。本協会は、当該問題事項の改善状況を評価し、大学基準への適合について改めて判定を行います。

また、「大学基準」に適合していない（以下「不適合」という。）との判定となった場合、翌年度または翌々年度のいずれかの年度に、不適合の原因となった事項について追評価を申請することができます。

なお、本協会が 2004（平成 16）年に「認証評価機関」として文部科学大臣に認証されたことにより、本協会の大学評価を受けた大学は、学校教育法に基づく「認証評価」を受けたことになります。

（２）大学評価の組織体制

2015（平成 27）年度の大学評価においては、申請大学に対応して次のような組織体制を整え、具体的な審査・評価活動を行いました。

まず、「大学評価」の中心となる大学評価委員会（委員 30 名、幹事 4 名）の下に、53 の大学評価分科会と 1 の大学財務評価分科会を設置しました。

大学評価委員会において、委員は本協会正会員校から推薦された候補者、理事会の推薦による者、外部有識者の中から理事会が選出した者によって構成されています。幹事は大学評価委員会の推薦により、理事会で選出しており、大学評価分科会の運営を補佐するとともに、評価結果の原案を作成する役割を担っています。

大学評価分科会は、各大学の財務を除く諸活動全体を評価することを目的とし、1 大学につき 1 つ設置されています。構成は主査と大学の規模・学部数などに応じた 4 人～10 人

の委員、幹事からなっています。

大学財務評価分科会（主査・委員あわせて13名）においては、大学財務評価の指標や方法の検討を行うとともに、分科会の下部に10の部会を設け、そこで評価された内容の調整を行いました。具体的には公立大学（法人）については、申請6大学に対して国・公立大学部会（主査・委員あわせて5名）を設置して評価を行い、私立大学については、申請47大学を9グループに分け、それぞれ設置する学部の種類に対応して私立大学部会（主査・委員あわせて27名）を設置し、分担して評価を行いました。

したがって、2015（平成27）年度の大学評価は、延べ332名の委員と4名の幹事がかわって行ったことになります（大学評価の組織体制については【資料1】、委員会、分科会、部会等の名簿については【資料2】参照）。

（3）2015（平成27）年度 大学評価（認証評価）への申請大学

（私立）	跡見学園女子大学	（私立）	就実大学
（公立）	岩手県立大学	（私立）	湘南工科大学
（私立）	大阪産業大学	（私立）	女子美術大学
（私立）	大阪体育大学	（私立）	成城大学
（私立）	大谷大学	（私立）	清泉女学院大学
（私立）	学習院大学	（私立）	洗足学園音楽大学
（私立）	活水女子大学	（私立）	多摩美術大学
（私立）	神奈川大学	（公立）	千葉県立保健医療大学
（私立）	金沢工業大学	（私立）	天理大学
（私立）	川崎医科大学	（私立）	東京基督教大学
（私立）	九州ルーテル学院大学	（私立）	東京情報大学
（私立）	京都光華女子大学	（公立）	長岡造形大学
（私立）	京都精華大学	（私立）	日本赤十字秋田看護大学
（私立）	京都ノートルダム女子大学	（私立）	日本赤十字看護大学
（私立）	京都薬科大学	（私立）	日本赤十字九州国際看護大学
（私立）	杏林大学	（私立）	日本赤十字広島看護大学
（私立）	熊本学園大学	（私立）	フェリス女学院大学
（公立）	高知県立大学	（私立）	福岡大学
（私立）	神戸松蔭女子学院大学	（私立）	文教大学
（私立）	神戸女学院大学	（私立）	北星学園大学
（私立）	神戸薬科大学	（私立）	武庫川女子大学
（私立）	國學院大学	（私立）	武蔵野美術大学
（公立）	国際教養大学	（私立）	明治学院大学
（私立）	国際武道大学	（私立）	名城大学

(私立) 山梨英和大学

(私立) 横浜美術大学

(私立) 立正大学

(私立) 立命館アジア太平洋大学

(公立) 和歌山県立医科大学

(大学名五十音順)

(4) 大学評価の経過

① 書面による評価

上記分科会にかかわる主査・委員は、評価者研修セミナーに参加した後、各大学の自己点検・評価の結果をとりまとめた点検・評価報告書および大学基礎データその他根拠資料をもとに自らの評価所見をまとめ、それぞれの分科会に臨みました。各大学評価分科会では、各委員の評価所見をもとに主査あるいは委員が分担執筆した大学評価分科会報告書（原案）をもとに書面による評価を行い、その結果を主査あるいは委員が分担執筆して大学評価分科会報告書（案）として取りまとめました。

② 大学評価における実地調査の実施

各分科会における書面評価終了後に大学評価申請のあった 53 大学のすべてに対して実地調査を実施しました。

実地調査の目的は、十分な資料・情報等を収集し、評価の正確性を期すことにあります。具体的には、書面評価の過程で発生した疑問点に関する質疑応答を行うとともに、大学全体での意見交換に加え、教職員個別の意見交換の時間を設け、大学と評価者間での十分なディスカッションを行いました。また、書面のみでは把握の難しかった施設・設備の状況などを実際に確認しました。さらに、各分科会の大学評価分科会報告書（案）をあらかじめ当該大学に提示し、実地調査の際に同案の記載内容についての確認の機会を設けました。あわせて学生インタビューや授業参観も行い、実地調査の実効性を高めることに努めました。

③ 大学評価委員会における評価結果（案）の作成

実地調査等の結果を反映させたいうで提出された各分科会の大学評価分科会報告書（最終版）をもとに、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した評価結果（委員長案）を大学評価委員会で審議し、委員会としての評価結果（委員会案）を作成しました。その後、同委員会案を当該大学に送付しました。

評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は、大学評価申請 53 大学中 33 大学から意見申立がなされました。大学評価委員会では、申請大学から提出された資料を中心に事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、評価結果（委員会案）に対して必要な修正を行いました。

④ 理事会による評価結果の承認

大学評価委員会が作成した評価結果（案）については、2016（平成 28）年 2 月 26 日開催の理事会に諮りました。その結果、2015（平成 27）年度に大学評価を申請した 53 大学すべての大学の評価結果について承認を得、本年度の大学評価が終了しました。

なお、2015（平成 27）年度に大学評価を受けた大学の評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する評価結果」をご参照ください。

（５）大学評価結果の概要

① 大学評価（認証評価）の結果、大学基準への適合認定を行った大学

2015（平成 27）年度に大学評価（認証評価）を申請した 53 大学中、下記の 52 大学について大学基準に適合していると認定しました。

(私立)	跡見学園女子大学	(私立)	女子美術大学
(公立)	岩手県立大学	(私立)	成城大学
(私立)	大阪体育大学	(私立)	清泉女学院大学
(私立)	大谷大学	(私立)	洗足学園音楽大学
(私立)	学習院大学	(私立)	多摩美術大学
(私立)	活水女子大学	(公立)	千葉県立保健医療大学
(私立)	神奈川大学	(私立)	天理大学
(私立)	金沢工業大学	(私立)	東京基督教大学
(私立)	川崎医科大学	(私立)	東京情報大学
(私立)	九州ルーテル学院大学	(公立)	長岡造形大学
(私立)	京都光華女子大学	(私立)	日本赤十字秋田看護大学
(私立)	京都精華大学	(私立)	日本赤十字看護大学
(私立)	京都ノートルダム女子大学	(私立)	日本赤十字九州国際看護大学
(私立)	京都薬科大学	(私立)	日本赤十字広島看護大学
(私立)	杏林大学	(私立)	フェリス女学院大学
(私立)	熊本学園大学	(私立)	福岡大学
(公立)	高知県立大学	(私立)	文教大学
(私立)	神戸松蔭女子学院大学	(私立)	北星学園大学
(私立)	神戸女学院大学	(私立)	武庫川女子大学
(私立)	神戸薬科大学	(私立)	武蔵野美術大学
(私立)	國學院大學	(私立)	明治学院大学
(公立)	国際教養大学	(私立)	名城大学
(私立)	国際武道大学	(私立)	山梨英和大学
(私立)	就実大学	(私立)	横浜美術大学
(私立)	湘南工科大学	(私立)	立正大学

(私立) 立命館アジア太平洋大学

(公立) 和歌山県立医科大学

(大学名五十音順)

② 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

以上の 52 大学には、それぞれの一層の改善充実のため、本協会として「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」からなる提言を付しています。

「長所として特記すべき事項」を付した大学は 52 大学、「改善勧告」を付した大学は 21 大学、「努力課題」を付した大学は 51 大学となりました。各指摘は、申請資料に基づく書面評価や実地調査の結果に加え、前述の意見申立等による意見を参考に、実態に即した指摘となるよう留意しました。

「改善勧告」や「努力課題」を付された大学は、それぞれの指摘にかかわる改善状況について、改善報告書を取りまとめ、原則として 2019（平成 31）年 7 月末までに、これを本協会宛に提出することになります。

③ 大学評価（認証評価）の結果、期限付適合認定を行った大学

2015（平成 27）年度に大学評価（認証評価）を申請した 53 大学中、1 大学（大阪産業大学）については、本協会の大学基準に適合しているものの、いくつかの点で問題があるため、期限付で認定し、再評価を受けることを課すこととしました。

④ 大学基準への期限付適合認定を行った大学に対する提言

期限付適合と認定した大学に対しては、「長所として特記すべき事項」、「必ず実現すべき改善事項」、「一層の改善が期待される事項」などで構成される「大学に対する提言」を付するとともに、2018（平成 30）年までのいずれかの年度に再評価を受けるよう要請しました。

（6）改善報告書について

前述のとおり、本協会では、大学評価の結果、大学基準に適合している旨の認定を受けた大学に対して、必要に応じて「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」を付しています。「改善勧告」を付された大学は、これに誠実に対応し、早急に改善措置を講じる必要があります。また、「努力課題」を付された大学は、問題点として指摘された事項について十分に検討し、一層の改善に努める必要があります。

「改善勧告」もしくは「努力課題」が付された大学は、それらの事項について本協会が指定する期日までに改善報告書を提出することになっています。この改善報告書の制度は、本協会の大学評価の特色のひとつであり、改善報告書の評価を通じて、大学の改善・改革を継続的に支援するための重要なシステムです。

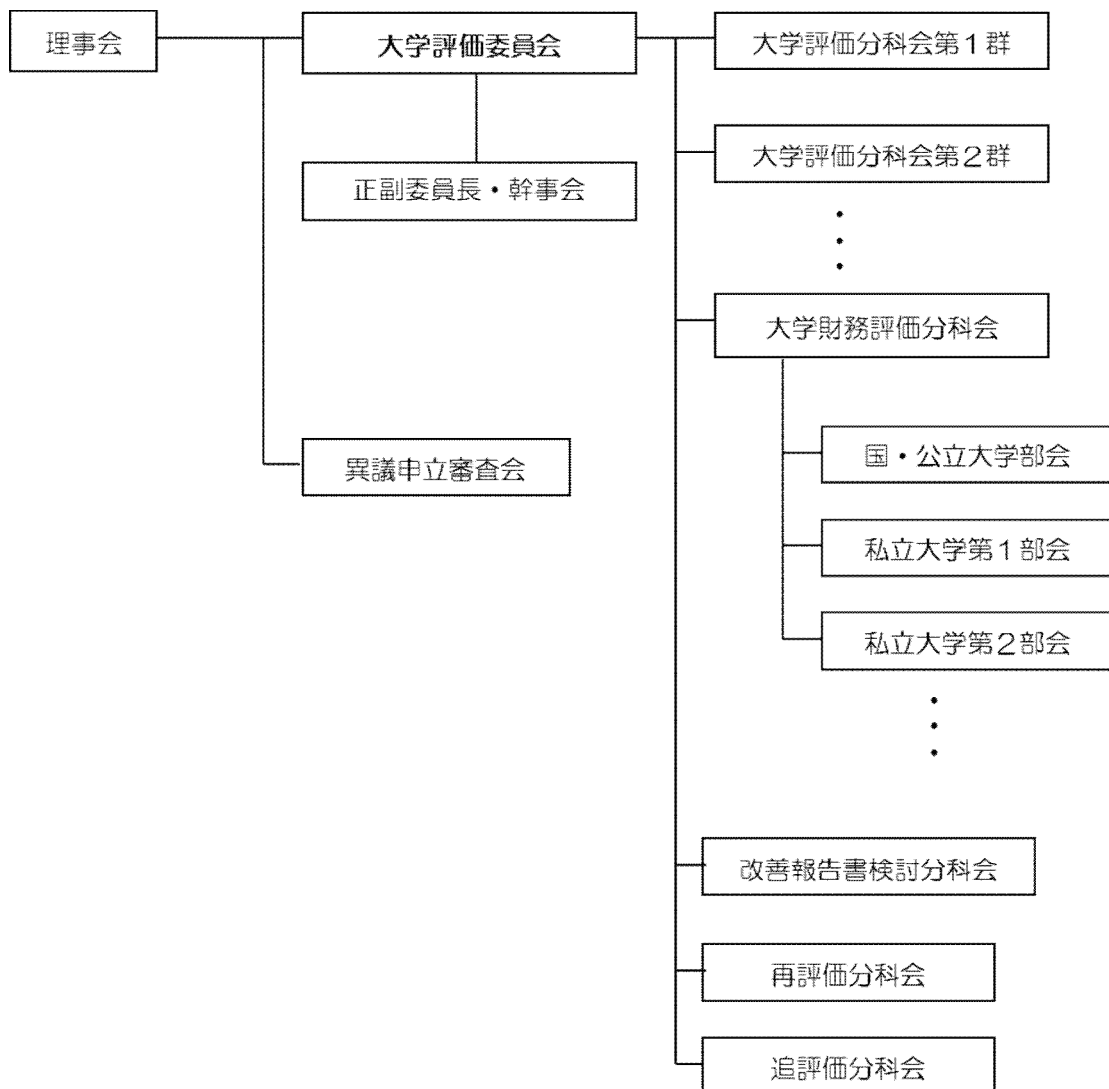
(7) 大学基準協会の評価の充実に向けて

多元的な大学評価システムが誕生しつつある中、2004（平成 16）年度より認証評価制度が開始されたことも踏まえ、現在、本協会は、これまで培ってきた実績をもとに、透明性・公正性の高い「第三者評価機関」として中心的な役割を果たすべく、大学評価システムの改善・充実に取り組んでいます。とりわけ、2011（平成 23）年度から、認証評価制度が第 2 期目を迎えたことを機に、これまでの「自己点検・評価の実施」から、大学自ら質を保証し、向上させるための継続的な努力とそれを社会一般に対していかに説明・証明しているのかという、「内部質保証システム」の構築と有効性を重視した新たな評価システムへと移行しました。また、評価基準の体系化、書面評価の方法や実地調査の充実をはじめとする評価プロセスについても見直し、改善を図るとともに、さまざまな検討を重ねています。

今後とも、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価を発展させる努力を行ってまいります。何とぞご支援いただきますようお願いいたします。

資 料 編

大学評価組織体制図



平成27年度 大学評価関係委員会等 名簿

(平成28年2月26日現在)

平成27年度 大学評価委員会 名簿

役 名	氏 名	所 属 名
委員長	浅 野 考 平	関 西 学 院 大 学
副委員長	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
委 員	新 井 泰 彦	関 西 大 学
委 員	石 原 慶 一	京 都 大 学
委 員	井 田 良	慶 應 義 塾 大 学
委 員	今 川 正 良	名 古 屋 市 立 大 学
委 員	浦 野 正 樹	早 稲 田 大 学
委 員	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委 員	片 山 剛	大 阪 大 学
委 員	香 取 薫	青 森 公 立 大 学
委 員	久 保 猛 志	金 沢 工 業 大 学
委 員	小 林 浩	リ ク ル ー ト 『カレッジマネジメント』
委 員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委 員	柴 田 誠	東京都立大泉高等学校付属中学校 兼 東 京 都 立 大 泉 高 等 学 校
委 員	鈴 木 正 誠	元NTTコミュニケーションズ 株 式 会 社
委 員	関 内 隆	東 北 大 学
委 員	高 野 敏 行	釧 路 公 立 大 学
委 員	竹 村 牧 男	東 洋 大 学
委 員	竹 村 泰 司	横 浜 国 立 大 学
委 員	千 田 亮 吉	明 治 大 学
委 員	津 曲 隆	熊 本 県 立 大 学
委 員	當 瀬 規 嗣	札 幌 医 科 大 学
委 員	飛 松 省 三	九 州 大 学
委 員	野 澤 康	工 学 院 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	前 田 早 苗	千 葉 大 学

役 名	氏 名	所 属 名
委 員	真 山 達 志	同 志 社 大 学
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社
委 員	矢 島 基 美	上 智 大 学
委 員	吉 岡 俊 正	東 京 女 子 医 科 大 学
幹 事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学
幹 事	白 川 優 治	千 葉 大 学
幹 事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学
幹 事	横 井 和 彦	同 志 社 大 学

平成27年度 大学評価委員会 大学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	勝 俣 好 充	長 崎 純 心 大 学
委員	野 田 春 美	神 戸 学 院 大 学
委員	真 野 博	城 西 大 学
委員	吉 川 大 栄	京 都 女 子 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	村 山 元 展	高 崎 経 済 大 学
委員	北 川 眞 理 子	名 古 屋 市 立 大 学
委員	渋 谷 哲	淑 徳 大 学
委員	平 澤 典 男	青 山 学 院 大 学
委員	宮 本 定 明	筑 波 大 学
委員	平 野 裕 敏	成 城 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委員	内 山 敏 典	九 州 産 業 大 学
委員	大 橋 正 和	中 央 大 学
委員	夏 秋 啓 子	東 京 農 業 大 学
委員	西 村 順 二	甲 南 大 学
委員	渥 美 元 康	東 洋 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	二 木 立	日 本 福 祉 大 学
委員	島 内 憲 夫	順 天 堂 大 学
委員	中 山 慎 吾	鹿 児 島 国 際 大 学
委員	伊 豆 一 男	青 山 学 院 大 学

第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	赤 井 孝 雄	杏 林 大 学
委員	桐 木 建 始	広 島 女 学 院 大 学
委員	柳 澤 明	早 稲 田 大 学
委員	岡 田 和 憲	鹿 児 島 国 際 大 学

第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	真 山 達 志	同 志 社 大 学
委員	佐 々 木 雅 寿	北 海 道 大 学
委員	仲 澤 幸 壽	西 南 学 院 大 学
委員	福 長 進	神 戸 大 学
委員	矢 倉 達 夫	関 西 学 院 大 学
委員	斎 藤 英 夫	東 北 学 院 大 学

第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	新 井 泰 彦	関 西 大 学
委員	阿 部 曜 子	四 国 大 学
委員	島 袋 香 子	北 里 大 学
委員	山 本 秀 人	日 本 福 祉 大 学
委員	本 橋 芳 徳	昭 和 女 子 大 学

第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	浦 野 正 樹	早 稲 田 大 学
委員	小 林 淳	秋 田 県 立 大 学
委員	田 中 俊 也	関 西 大 学
委員	二 宮 正 人	北 九 州 市 立 大 学
委員	原 田 善 教	東 北 学 院 大 学
委員	安 田 和 彦	京 都 産 業 大 学
委員	宇 宿 悟	関 西 学 院 大 学
幹事	白 川 優 治	千 葉 大 学

第 9 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	石 原 慶 一	京 都 大 学
委員	青 田 浩 幸	関 西 大 学
委員	丸 山 收	東 京 都 市 大 学
委員	水 野 衛	秋 田 県 立 大 学
委員	渡 辺 賢 二	東 京 理 科 大 学

第 11 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	堀 川 徹	京 都 外 国 語 大 学
委員	新 井 哲 男	東 京 家 政 大 学
委員	高 橋 明 彦	金 沢 美 術 工 芸 大 学
委員	藤 原 芳 行	立 教 大 学

第 13 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	前 田 早 苗	千 葉 大 学
委員	北 岡 崇	梶 山 女 学 園 大 学
委員	新 保 祐 司	都 留 文 科 大 学
委員	戸 田 泰 男	共 立 女 子 大 学
委員	森 島 隆 晴	敬 愛 大 学
委員	齋 藤 真 左 樹	日 本 福 祉 大 学

第 15 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	白 幡 晶	城 西 大 学
委員	新 楨 幸 彦	東 京 薬 科 大 学
委員	原 英 彰	岐 阜 薬 科 大 学
委員	田 中 弘 夫	星 薬 科 大 学

第 17 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	千 葉 貴 律	明 治 大 学
委員	岩 野 雅 子	山 口 県 立 大 学
委員	関 口 定 一	中 央 大 学
委員	長 谷 部 秀 孝	創 価 大 学
委員	原 田 啓 一 郎	駒 澤 大 学
委員	中 村 和 己	京 都 橘 大 学

第 10 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 岡 俊 正	東 京 女 子 医 科 大 学
委員	石 龍 徳	東 京 医 科 大 学
委員	菱 沼 昭	獨 協 医 科 大 学
委員	古 澤 俊 美	東 邦 大 学

第 12 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	田 島 優	明 治 大 学
委員	栗 田 啓 子	東 京 女 子 大 学
委員	松 尾 太 加 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	井 上 泰 則	藤 女 子 大 学

第 14 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	塚 本 伸 一	立 教 大 学
委員	岩 永 誠	広 島 大 学
委員	坂 井 信 三	南 山 大 学
委員	三 宅 正 起	九 州 女 子 大 学
委員	佐 野 知 子	東 京 女 子 大 学

第 16 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	飛 松 省 三	九 州 大 学
委員	小 笠 原 克 彦	北 海 道 大 学
委員	佐 藤 成 男	玉 川 大 学
委員	佐 道 明 広	中 京 大 学
委員	山 下 増 男	東 海 大 学

第 18 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	津 曲 隆	熊 本 県 立 大 学
委員	出 雲 祐 二	青 森 県 立 保 健 大 学
委員	川 崎 直 人	近 畿 大 学
委員	竹 田 千 佐 子	兵 庫 医 療 大 学
委員	野 田 敏 明	秋 田 県 立 大 学

第 19 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	北 村 和 夫	聖 心 女 子 大 学
委員	大 塚 一 徳	長 崎 県 立 大 学
委員	高 野 和 子	明 治 大 学
委員	鈴 木 孝 之	共 立 女 子 大 学

第 21 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	黒 澤 隆 夫	北 海 道 医 療 大 学
委員	浅 井 和 範	星 薬 科 大 学
委員	伊 藤 彰 近	岐 阜 薬 科 大 学
委員	今 井 達 男	東 京 薬 科 大 学

第 23 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	高 野 敏 行	釧 路 公 立 大 学
委員	飯 田 毅	同 志 社 女 子 大 学
委員	山 神 進	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学
委員	宮 原 照 文	首 都 大 学 東 京

第 25 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 島 信 生	皇 學 館 大 学
委員	岡 田 信 彦	北 里 大 学
委員	難 波 雅 紀	実 践 女 子 大 学
委員	山 崎 雅 教	大 東 文 化 大 学
委員	西 村 豊	龍 谷 大 学

第 27 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	森 公 一	同 志 社 女 子 大 学
委員	江 藤 茂 博	二 松 学 舎 大 学
委員	日 浦 慎 作	広 島 市 立 大 学
委員	長 谷 川 順 子	佛 教 大 学

第 20 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	秀 島 武 敏	桜 美 林 大 学
委員	大 内 典	宮 城 学 院 女 子 大 学
委員	北 林 利 治	京 都 橘 大 学
委員	熊 澤 茂 則	静 岡 県 立 大 学
委員	関 口 正 美	津 田 塾 大 学

第 22 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	片 山 剛	大 阪 大 学
委員	浮 田 潤	関 西 学 院 大 学
委員	上 嶋 一 高	神 戸 大 学
委員	谷 川 至 孝	京 都 女 子 大 学
委員	柳 井 雅 人	北 九 州 市 立 大 学
委員	尾 崎 善 則	同 志 社 大 学

第 24 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	下 山 昭 夫	淑 徳 大 学
委員	高 石 鉄 雄	名 古 屋 市 立 大 学
委員	内 藤 久 士	順 天 堂 大 学
委員	西 谷 豊	皇 學 館 大 学

第 26 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	平 栗 健 二	東 京 電 機 大 学
委員	神 田 雄 一	東 洋 大 学
委員	岸 田 晶 夫	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	滝 川 義 弘	大 谷 大 学

第 28 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	竹 村 牧 男	東 洋 大 学
委員	稲 田 秀 雄	山 口 県 立 大 学
委員	谷 澤 毅	長 崎 県 立 大 学
委員	飛 世 昭 裕	帝 塚 山 大 学
委員	竹 内 文 利	神 戸 学 院 大 学

第 29 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委員	河 原 崎 や す 子	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委員	小 池 敦	三 重 県 立 看 護 大 学
委員	賞 雅 郁 子	恵 泉 女 学 園 大 学

第 31 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	三 木 博	京 都 市 立 芸 術 大 学
委員	小 林 裕 幸	千 葉 大 学
委員	田 辺 清	大 東 文 化 大 学
委員	小 島 隆 久	同 志 社 女 子 大 学

第 33 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	長 谷 川 信	青 山 学 院 大 学
委員	磯 岡 哲 也	淑 徳 大 学
委員	桜 井 伸 二	中 京 大 学
委員	三 田 明 弘	日 本 女 子 大 学
委員	佛 坂 公 子	法 政 大 学

第 35 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	野 澤 康	工 学 院 大 学
委員	今 井 正 和	公 立 鳥 取 環 境 大 学
委員	増 田 悦 夫	流 通 経 済 大 学
委員	近 藤 智 彦	愛 知 大 学

第 37 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	麻 原 き よ み	聖 路 加 国 際 大 学
委員	黒 江 ゆ り 子	岐 阜 県 立 看 護 大 学
委員	田 中 マ キ 子	山 口 県 立 大 学
委員	鈴 木 英 二	北 海 道 医 療 大 学

第 39 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	清 水 嘉 子	長 野 県 看 護 大 学
委員	岡 田 隆 夫	順 天 堂 大 学
委員	丸 岡 直 子	石 川 県 立 看 護 大 学
委員	栗 林 克 礼	新 潟 青 陵 大 学

第 30 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	森 茂 岳 雄	中 央 大 学
委員	神 原 雅 之	国 立 音 楽 大 学
委員	中 川 俊 宏	武 蔵 野 音 楽 大 学
委員	藤 田 由 典	関 西 大 学

第 32 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	今 川 正 良	名 古 屋 市 立 大 学
委員	前 田 伸 子	鶴 見 大 学
委員	吉 村 耕 一	山 口 県 立 大 学
委員	寺 野 康 宣	日 本 赤 十 字 看 護 大 学

第 34 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	江 藤 直 純	ル ー テ ル 学 院 大 学
委員	白 川 充	仙 台 白 百 合 女 子 大 学
委員	竹 内 修 一	上 智 大 学
委員	安 田 政 志	帝 塚 山 大 学

第 36 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	岩 下 克	高 知 工 科 大 学
委員	小 野 康 男	横 浜 国 立 大 学
委員	南 一 誠	芝 浦 工 業 大 学
委員	岡 部 哲 彦	公 立 鳥 取 環 境 大 学

第 38 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 日 向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委員	井 上 ひ と み	獨 協 医 科 大 学
委員	三 国 久 美	北 海 道 医 療 大 学
委員	濱 田 泰 邦	日 本 大 学

第 40 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	遠 藤 俊 子	京 都 橘 大 学
委員	岩 崎 紀 久 子	淑 徳 大 学
委員	岡 本 恵 里	三 重 県 立 看 護 大 学
委員	柳 原 聡	麻 布 大 学

第 41 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	飯 田 良 明	実 践 女 子 大 学
委員	石 田 仁 志	東 洋 大 学
委員	稲 田 雅 美	同 志 社 女 子 大 学
委員	松 居 竜 五	龍 谷 大 学
委員	廣 畑 俊 介	神 戸 女 子 大 学

第 42 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	井 田 良	慶 應 義 塾 大 学
委員	鏡 味 治 也	金 沢 大 学
委員	曾 根 幹 子	広 島 市 立 大 学
委員	高 橋 良 哉	東 邦 大 学
委員	田 中 豊	法 政 大 学
委員	土 屋 孝 次	近 畿 大 学
委員	吉 田 謙 一 郎	獨 協 医 科 大 学
委員	吉 田 裕 之	京 都 産 業 大 学
委員	平 野 崇 雄	北 里 大 学
幹事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学

第 43 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	千 田 亮 吉	明 治 大 学
委員	池 田 隆 幸	藤 女 子 大 学
委員	草 薙 信 照	大 阪 経 済 大 学
委員	中 島 ひ か る	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	本 岡 愛 実	宮 城 教 育 大 学
委員	前 田 信 彦	立 命 館 大 学
委員	小 林 慎 一	京 都 産 業 大 学

第 44 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 藤 良 一	法 政 大 学
委員	泉 宏 之	横 浜 国 立 大 学
委員	大 内 和 子	い わ き 明 星 大 学
委員	三 浦 俊 二	東 北 福 祉 大 学
委員	佐 藤 吉 孝	学 習 院 大 学

第 45 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	加 藤 直 人	日 本 大 学
委員	石 川 孝 重	日 本 女 子 大 学
委員	菅 敏 幸	静 岡 県 立 大 学
委員	松 尾 哲 矢	立 教 大 学
委員	村 上 隆	共 立 女 子 大 学
委員	寺 沢 白 雄	実 践 女 子 大 学

第 46 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	国 吉 光	東 京 電 機 大 学
委員	奥 富 利 幸	近 畿 大 学
委員	鈴 木 賢 一	名 古 屋 市 立 大 学
委員	松 岡 尚 志	創 価 大 学

第 47 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 藤 満	立 命 館 大 学
委員	濱 田 弘 樹	釧 路 公 立 大 学
委員	広 瀬 裕 樹	愛 知 大 学
委員	松 井 康 浩	九 州 大 学
委員	渡 部 充	神 戸 女 学 院 大 学
委員	平 山 崇	西 南 学 院 大 学

第 48 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	矢 島 基 美	上 智 大 学
委員	井 上 貴 也	東 洋 大 学
委員	川 野 祐 二	下 関 市 立 大 学
委員	佐 藤 之 彦	千 葉 大 学
委員	塚 口 博 司	立 命 館 大 学
委員	丸 山 恭 司	広 島 大 学
委員	山 岸 博	京 都 産 業 大 学
委員	眞 島 和 巳	中 央 大 学
幹事	横 井 和 彦	同 志 社 大 学

第 49 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 野 幸 子	福 岡 女 学 院 大 学
委員	金 山 愛 子	敬 和 学 園 大 学
委員	神 尾 登 喜 子	阪 南 大 学
委員	保 坂 克 二	東 京 家 政 大 学

第 50 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	久 保 猛 志	金 沢 工 業 大 学
委員	倉 内 啓	広 島 市 立 大 学
委員	原 直 久	日 本 大 学
委員	山 崎 そ の	京 都 外 国 語 大 学

第 51 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	関 内 隆	東 北 大 学
委員	小 澤 伸 光	駿 河 台 大 学
委員	指 田 勝 男	筑 波 大 学
委員	田 口 哲 也	同 志 社 大 学
委員	三 浦 剛	東 北 福 祉 大 学
委員	脇 田 滋	龍 谷 大 学
委員	川 口 誠 人	明 治 大 学
幹事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学

第 52 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	阪 野 智 一	神 戸 大 学
委員	上 妻 義 直	上 智 大 学
委員	武 石 礼 司	東 京 国 際 大 学
委員	高 木 範 夫	早 稲 田 大 学

第 53 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	當 瀬 規 嗣	札 幌 医 科 大 学
委員	青 木 き よ 子	順 天 堂 大 学
委員	野 口 雅 之	筑 波 大 学
委員	水 野 一 裕	名 古 屋 市 立 大 学

平成27年度 大学財務評価分科会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
委員	井 倉 博	学 校 法 人 近畿大学
委員	尾 浪 英 人	学 校 法 人 学 習 院
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	杉 崎 正 彦	学校法人 國學院大學
委員	徳 田 守	学校法人 金沢工業大学
委員	豊 田 耕 三	学 校 法 人 立 命 館
委員	永 和 田 隆 一	学校法人 神奈川大学
委員	波 多 野 隆 一	学校法人 獨協学園
委員	平 井 雪 恵	学校法人 立教学院
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所
委員	山 田 憲 男	学校法人 日本女子大学
委員	吉 田 和 生	名 古 屋 市 立 大 学

平成27年度 大学財務評価分科会 国・公立大学部会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	吉 田 和 生	名 古 屋 市 立 大 学
委員	佐 藤 修 二	宮 城 教 育 大 学
委員	佐 藤 知 久	静 岡 県 立 大 学
委員	白 崎 賢 治	札 幌 医 科 大 学
委員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学

平成27年度 大学財務評価分科会 私立大学部会名簿

第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	井 倉 博	学校法人 近畿大学
委員	真 壁 泰 夫	学校法人 北里研究所
委員	高 橋 一 夫	学校法人 日本大学

第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 田 守	学校法人 金沢工業大学
委員	新 井 伊 佐 男	学校法人 東京理科大学
委員	山 本 尚 明	学校法人 慶應義塾

第 3 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	豊 田 耕 三	学校法人 立命館
委員	坂 本 康 浩	学校法人 関西大学
委員	望 月 肇	学校法人 工学院大学

第 4 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	永 和 田 隆 一	学校法人 神奈川大学
委員	岳 弘 司	学校法人 福岡大学
委員	浜 吉 輝	学校法人 同志社

第 5 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	尾 浪 英 人	学校法人 学習院
委員	稲 垣 悦 朗	学校法人 千葉敬愛学園
委員	金 子 尚 吾	学校法人 早稲田大学

第 6 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	波 多 野 隆 一	学校法人 獨協学園
委員	駒 板 高 明	学校法人 東北学院
委員	吉 田 民	吉田公認会計士事務所

第 7 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	山 田 憲 男	学校法人 日本女子大学
委員	平 野 勝 則	学校法人 青山学院
委員	岡 部 雅 人	岡部公認会計士事務所

第 8 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	平 井 雪 恵	学校法人 立教学院
委員	永 代 達 三	学校法人 明治大学
委員	山 田 幸 太 郎	山田公認会計士事務所

第 9 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	杉 崎 正 彦	学校法人 國學院大學
委員	山 本 真 之	学校法人 津田塾大学
委員	道 上 裕 之	学校法人 東洋大学

【資料 3】

平成 27 年度 大学評価のスケジュール

2015（平成 27）年度 大学評価は以下の手順でとり行った。

2015 年	1 月 15 日	申請大学より大学評価申請書の提出
	3 月 6 日	第 31 回大学評価委員会開催（平成 27 年度大学評価に関する検討）
	4 月 1 日	申請大学より大学評価関連資料の提出
	4 月 23 日	第 32 回大学評価委員会開催（平成 27 年度大学評価に関する検討）
	5 月 1 日	第 1 回大学財務評価分科会の開催
	5 月上旬	評価者研修セミナーの開催（平成 27 年度の評価の概要および主査・委員が行う作業の説明）
	5 月中旬 ～ 6 月下旬	主査および委員による申請大学に対する評価所見の作成
	7 月下旬 ～ 9 月上旬	大学評価各分科会報告書（原案）の作成（各委員の評価所見の統合） 大学評価各分科会の開催（分科会報告書（案）の作成）
	7 月 28 日	第 2 回大学財務評価分科会の開催（分科会報告書（案）の作成）
	8 月中旬～	分科会報告書（案）の申請大学への送付
	9 月下旬 ～ 10 月	各申請大学に対する実地調査の実施、 その後、分科会報告書の完成
	11 月 2 日	第 3 回大学財務評価分科会の開催
	11 月 20 日 ～ 22 日	第 12 回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報告書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成）
	12 月 12 日 ～ 13 日	第 33 回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討）
	12 月下旬	「評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2016 年	2 月 6 日 ～ 7 日	第 34 回大学評価委員会の開催（大学から提示された意見を参考に「評価結果」（委員会案）を修正し、「評価結果」（最終案）を作成）
	2 月 26 日	第 501 回理事会の開催（「評価結果」（最終案）の承認）